

SUJ ■ 工物品質大会

精鋭4選手が技競う

優れたスキルを共有

技術物流連合会(SUJ、下原啓明会長)は18日、工物品質競技会の決勝大会を大阪府枚方市で開き、予選を勝ち抜いた精鋭4選手が出場、日常業務で鍛えた技を競った。

品質強化推進委員会の山中泰宏委員長は「工事を伴う物流における接客や技術を競うだけでなく、優れたスキルを共有することで、全体のレベルアップにつなげる『共技会』にしてもら

いたい」と呼び掛けた。

全国4ブロック、計20社がエントリーした予選を勝ち抜いたブロック代表が出場。競技は接客50点、技術50点、スピード(施工時間)5点の計105点満点で行われ、エアコンの移設に伴う設置工事という課題で、接客レベル、施工技術、顧客満足度などを競った。

熱戦の結果、オーエスピー(寸田勝一社長、福岡県宇美町)の曾根田誉志選手(40)が96・8点をマ



1位の曾根田選手にトロフィーを贈る下原会長

ークし、1位に輝いた。表彰式では、下原会長から賞状とトロフィー、副賞のポータブル掃除機が贈られた。

曾根田氏は「1位になることができ、大変うれしい。これからも安全で効率的な美しい作業と、お客さまに好感を持ってもらえる接

客・サービスに努めたい」と語った。(小菓史和)